

項目	内容
名称	センタウリア、センタウリウムソウ [英]Centaury [学名]Centaurium minus、Centaurium erythraea
概要	センタウリアは、ヨーロッパ、西アジア、北アフリカ原産のリンドウ科の一年草で、高さ5～30 cm程度に生長する。花を含む地上部はアルコール飲料の香料として利用されている。
法規・制度	<b>■食薬区分</b> ・センタウリウムソウ (Centaurium minus) 全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <b>■食品添加物</b> ・天然香料基原物質リスト センタウリアが記載されている。 <b>■海外情報</b> ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・イリドイド配糖体 (スワーチアマリン、ゲンチオピクリン)、ゲンチアニンなどを含む (101)。
分析法	・地上部から抽出した精油に含まれる揮発性芳香成分 (テルピネン、メントン、シメン、リモネンなど) をGCおよび GC-MSで分析した報告がある ( <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/22349896/">PMID:22349896</a> )。

## 有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン  
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館  
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)  
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson  
[\(PMID:22349896\) Molecules. 2012 Feb 20;17\(2\):2058-72.](#)  
[\(PMID:20800671\) J Ethnopharmacol. 2010 Oct 28;132\(1\):48-55.](#)